**专 业： 翻译硕士**

**考试科目： 翻译硕士日语**

**考生须知**

1. 本试卷共 12 页。
2. 答案必须写在答题纸上，写在试题册上无效。
3. 答题时一律使用蓝、黑色墨水笔或圆珠笔，用其它笔作答不给分。

4．考试时间为 3 小时，成绩满分 100 分。

**Ⅰ　語彙文法（30点）**

**注意：答えはすべて解答用紙に記入すること。**

**また、解答用紙に答えを記入する際、次の例のように解答番号と答えを縦一列にきちんと並べて書くこと。**

**記入例：　一．1．①**

**（以下同、中略）**

**⑩**

**問題一、（　　　　）に適当な助詞を入れてください。**

**（0.5×10＝5点）**

青春とは人生のある時期をいうのではなく、心のあり方をいうのだ、と言われる。よく似た意味で、老人（　①　）は三つのタイプがあるとも言われる。すなわち、まだまだ若い人、昔は若かった人、そして一度も若かったことのない人です。

いまの若者は、老いて、どのタイプになるのだろう。財団法人「日本青少年研究所」などが日米中韓の４国の高校生を調べたら、いま一つ覇気（　②　）欠ける日本の若者像が浮かび上がった。「偉くなりたい」は他国の約3分の1。逆に「のんびり暮らしたい」は43％（　③　）他の14~22％（　④　）断然、引き離していた。

　情けないと嘆く人、それも良しと肯く人、考え込んでしまう人。感慨はそれぞれだろう。クラーク博士の「青年よ大志を抱け」は死語になった（　⑤　）と、ため息をつく人がいるかもしれない。

　調査（　⑥　）はまた、「自分の会社や店を作りたい」（　⑦　）他の半分以下沈む一方、「多少退屈（　⑧　）平穏な生涯を送りたい」は上回った。立身出世に血道を上げることもない（　⑨　）、若くして閑居を望む声が多いのはどうしてなのかなあ。

　調査をした団体によれば、学級委員（　⑩　）最近はなり手が減っているそうだ。「いまどきの若者は……」と言いかけた口をつぐんで、そっと不安をのみ込むことにする。

**問題二、間違ったところを見つけて直しなさい。（1×5＝5点）**

　①　あねから電話があった。病気になったから、手伝ってもらいたいと言った。

　②　冬になると、マスクをして歩く人が増えてきます。これは花粉症の人たちです。

　③　沖縄にいらしてください。それから、その時はぜひ私にご案内させてください。

　④　日本企業に関する研究は数多いが、国際化になった日本企業の実像を包括的に示す実証研究は乏しかった。

　⑤　わざわざご足労いただきまして、とても恐縮でございます。

問題三、　　　　　　に入れるのに最も適当なものを選びなさい。（1×20＝20点）

①彼は1年も前のけんかを＿＿＿にもって、私と口をきこうとしない。

A　肝　　　　　　　　　B　地

C　根　　　　　　　　　D　本

②あれこれ言っていないで、＿＿＿始めて、早く終わりにしよう。

　A　さっぱり　　　　　　B　さっさと

C　さっそうと　　　　　D　ぱっと

③新しい商品は消費者＿＿＿の意見を聞いて作られる。

A　レギュラー　　　　　B　フロント

C　タレント　　　　　　D　モニター

④＿＿＿この電話番号に連絡してください。

　A　緊急　　　　　　　　B　至急

C　火急　　　　　　　　D　早急

⑤ときに大声をあげて、＿＿＿叫んでみたくなる。

　A　思いがけず　　　　　B　思いきり

C　思いつき　　　　　　D　思えば

⑥学生時代、小説に夢中になって、小説なら何でもかまわず読

　み＿＿＿。

　A　とおした　　　　　　B　つづいた

C　まくった　　　　　　D　ぬいた

⑦久しぶりに友人と喫茶店で3時間も話し＿＿＿しまった。

　A　こんで　　　　　　　B　いれて

C　すぎて　　　　　　　D　だして

⑧私が意見を述べようとすると、彼はだまっていろと＿＿＿きびしい目で私をにらみつけた。

　A　言わんとする　　　　B　言わんばかりの

C　言いたげ　　　　　　D　言えそう

⑨「わかりました。松本が帰り次第、寺村さまより電話があっ

たことを＿＿＿。」

A　伝えておきます

B　お伝えします

C　伝えていただきます

D　伝えたい次第でございます

⑩この大学は施設がすばらしい＿＿＿教授陣も立派な方がそろっている。

　A　ほど　　　　　　　　B　どころか

C　より　　　　　　　　D　ばかりか

⑪母国を離れると、第三者＿＿＿自分の国を客観的に見ること

　ができます。

　A　にとって　　　　　　B　に対して

C　として　　　　　　　D　によって

⑫彼の助言は毒にもならない＿＿＿、薬にもならない。

　A　かわりで　　　　　　B　かわりに

C　かわりか　　　　　　D　かわりと

⑬かれはよく冗談を言って、人を笑わせているので、さぞ明る

い男だと思いきや、＿＿＿＿。

A　てっきりだった

B　いきなり笑い出した

C　実は悩み多き男だった

D　案の定、暗い男だった

⑭弁護士の資格試験を受けようと思うが、さすがに国家試験

　　＿＿＿むずかしい。

　A　ともなれば　　　　　B　ともなると

C　ともすれば　　　　　D　ともいえば

⑮スーパーで子供の頃を思い出しながら、ふと、そのみかんの山を＿＿＿見ていると、かごの前に「味度７度」などと書いてありました。

　A　見るもなし　　　　　B　見ずになしで

C　見るとなり　　　　　D　見るとはなしに

⑯「先生、発表の仕方についてちょっと＿＿＿。」

　A　ご説明していただきませんか

　B　ご説明おねがいしませんか

C　ご説明していただけませんか

D　ご説明ねがえませんか

⑰○○塾は豊富なデータと、当塾＿＿＿情報力で得た最新の入試情報を分析し、それらを生徒一人一人にマッチした指導に役立てています。

　A　ならではの　　　　　B　ほかならぬ

C　ほかない　　　　　　D　こその

⑱この感情を正直に言うか言わないかとためらっているうちに、結局、＿＿＿になってしまいました。

A　言わずじまい　　　　B　言わざるをえなし

C　言ったばかり　　　　D　言うまい

⑲私は次から次へと読書に励んでいますが、読んだ＿＿＿内

容を忘れるからどうしようもない。

　A　かたわら　　　　　　B　そばから

C　なり　　　　　　　　D　なら

⑳かつて手紙文には一定の形式があったが、近年、その形式は

失われた。いつも自分の言葉で手紙を＿＿＿というのも大変

なことである。

　A　書かねばならない　　　B　書くはずである

C　書くべきではない　　　D　書いてはならない

**Ⅱ、読解（40点）**

**注意：答えはすべて解答用紙に記入すること。**

**また、解答用紙に答えを記入する際、次の例のように解答番号と答えを縦一列にきちんと並べて書くこと。**

**記入例：二．問題一．問１．①**

**（以下同、中略）**

**④**

**問２．⑤**

**（以下同、中略）**

**⑧**

**問３．（ア）**

**（イ）**

**問４．（１）**

**（以下同、中略）**

**（８）**

**問題一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（20点）**

　今日、普請道楽の人が純日本風の家屋を建てて住まおうとすると、電気や瓦斯（ガス）や水道等の取附け方に苦心を払い、何とかしてそれらの施設が日本座敷と調和するように工夫を凝らす風があるのは、じぶんで家を建てた経験のない者でも、待合料理屋旅館等の座敷へ這入ってみれば常に気が付くことであろう。独りよがりの茶人などが科学文明の恩沢を①どがいしして、辺鄙な田舎にでも草庵を②いとなむなら格別、いやしくも相当の家族を擁して都会に住居する（1）以上、いくら日本風にするからと云って、近代生活に必要な暖房や照明や衛生の設備を斥ける（2）　　　　　　　　。で、凝り性の人は電話一つ取り附けるにも頭を悩まして、梯子段の裏とか、廊下の隅とか、出来るだけ目障りにならない場所に持って行く。その他庭の電線は地下線にし、部屋のスイッチは押入れや地袋の中に隠し、コードは屏風（びょうぶ）の蔭を這わす等、いろいろ、考えた⑤揚句、中には神経質に作為をし過ぎて、却ってうるさく感ぜられるような場合もある。実際電燈などはもうわれわれの眼の方が馴れッこになってしまっているから、なまじなことをするよりは、あの在来の乳白ガラスの浅いシェードを附けて、球をムキ出しに見せて置く方が、自然で、素朴な気持もする。夕方、汽車の窓などから田舎の景色を眺めている時、茅葺きの百姓家の障子の蔭に、今では時代おくれのしたあの浅いシェードを附けた電球がぽつんと燈っているのを見ると、風流にさえ思えるのである。（3）　　　　　煽風器などと云うものになると、あの音響と云い形態と云い、未だに日本座敷とは調和しにくい。それも普通の家庭なら、イヤなら使わないでも済むが、夏向き、客商売の家などでは、主人の趣味にばかり⑥媚びる訳に行かない。私の友人の偕楽園主人は随分普請に凝る方であるが、煽風器を嫌って久しい間客間に取り附けずにいたところ、毎年夏になると客から苦情が出るために、結局我を折って使うようになってしまった。かく云う私なぞも、先年身分不相応な大金を投じて家を建てた時、それに似たような経験を持っているが、細かい建具や器具の末まで気にし出したら、種々な困難に行きあたる。たとえば障子一枚にしても、趣味から云えばガラスを篏めたくないけれども、（4）　　　　、徹底的に紙ばかりを使おうとすれば、採光や戸締まり等の点で⑦差支えが起る。よんどころなく内側を紙貼りにして、外側をガラス張りにする。そうするためには表と裏と桟を二重にする必要があり、従って費用も嵩（かさ）むのであるが、さてそんなにまでしてみても、外から見ればたゞのガラス戸であり、内から見れば紙のうしろにガラスがあるので、やはり本当の紙障子のようなふっくらした柔かみがなく、イヤ味なものになりがちである。そのくらいならたゞのガラス戸にした方がよかったと、やっとその時に後悔するが、他人の場合は笑えても、自分の場合は、そこまでやってみないことには中々あきらめが付きにくい。近来電燈の器具などは、行燈式のもの、提燈式のもの、八方式のもの、燭台式のもの等、日本座敷に調和するものがいろいろ、売り出されているが、私はそれでも気に入らないで、昔の石油ランプや有明行燈や枕行燈を古道具屋から捜して来て、それへ電球を取り附けたりした。分けても苦心したのは暖房の設計であった。と云うのは、およそストーヴと名のつくもので日本座敷に調和するような形態のものは一つもない。（5）　　　　　瓦斯（ガス）ストーヴはぼうぼう燃える音がするし、また煙突でも付けないことにはじきに頭痛がして来るし、そう云う点では理想的だと云われる電気ストーヴにしても、形態の面白くないことは同様である。電車で使っているようなヒーターを地袋の中へ取り附けるのは一策だけれども、やはり赤い火が見えないと、冬らしい気分にならないし、家族の団欒にも不便である。私はいろいろ、智慧を③しぼって、百姓家にあるような大きな炉を造り、中へ電気炭を仕込んでみたが、これは湯を沸かすにも部屋を温めるにも都合がよく、費用が嵩むと云う点を除けば、様式としてはまず成功の部類であった。で、暖房の方はそれでどうやら巧く行くけれども、次に困るのは、浴室と厠（かわや）である。偕楽園主人は浴槽や流しにタイルを張ることを嫌がって、お客用の風呂場を純然たる木造にしているが、経済や実用の点からは、タイルの方が方々⑧優っていることは云うまでもない。たゞ、天井、柱、羽目板等に結構な日本材を使った場合、一部分をあのケバケバしいタイルにしては、いかにも全体との映りが悪い。出来たてのうちはまだいいが、追い追い、年数が経って、板や柱に木目（もくめ）の味が出て来た時分、タイルばかりが白くつるつるに光っていられたら、それこそ（6）　　　ようである。でも浴室は、趣味のために実用の方を幾分犠牲に供しても済むけれども、厠になると、一層④やっかいな問題が起るのである。

　　　　　　　　　　　　　　　谷崎潤一郎「陰翳礼賛」より

問1①、②、③、④の下線の部分を漢字に書き換えてください（1×4=4点）

①（　　　　　） ②（　　　　）

どがいし 　　いとなむ

③（　　　　）　　　④（　　　　）

しぼって やっかい

問2⑤、⑥、⑦、⑧の下線の部分を平仮名に書き換えてください。（1×4=4点）

⑤（　　　　　）　　⑥（　　　　　）

　 揚　句　 媚びる

⑦（　　　　　）　　⑧（　　　　　）

差支え　　　　　 優って

問３：（1）の「以上」を外の言葉で言い換えれば、どれがいいか選びなさい。（1×2＝2点）

A　からには　　 　B　ところで

　 C　ためには　　 　D　につれ

問４：（2）～（6）に入れる適当なものを選んでください。（2×5＝10点）

（２）：

　A　わけである　　　　B　わけにはいかない

C　わけではない　　　D　わけがある

（３）：

　A　だから　　　　　　B　また

C　そもそも　　　　　D　しかし

（４）：

　A　それだけでなく　　B　それゆえ

C　そうかといって　　D　それどころか

（５）：

　A　それで　　　　　　B　その上

C　それにしても　　　D　だが

（６）：

　A　木に竹を接いだ　　B　瓢箪から駒が出る

C　鳶が鷹を生む　　　D　金に糸目をつけない

**問題二　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（20点）**

 文学的な経験と科学的な経験の性質を区別することは、それぞれの典型的な例については、あまり困難な仕事ではない。

　科学は（1）　　　　　　的な経験の一面を抽象し、抽象化された経験は、他の同類の経験と関係付けられて分類される。このように抽象化され、分類された経験は、原則として、一定の条件のもとで繰り返されるはずのものである。従って科学は、法則の普遍性について語ることができるのである。たとえば一個の具体的なレモンは、その質量・容積・位置・運動等に還元されることによって、力学の対象となり、またその効用や生産費や小売価格などに還元されることによって、経済学の対象となる。力学や経済学は、具体的なレモンについてではなく、抽象化された対象について、その対象が従う法則をしらべるのである。

　文学は具体的な経験の具体性を強調する。具体的な経験は、分類されることができない。また決してそのまま繰り返されることもない。分類の不可能な、一回限りの具体的な経験が、文学の典型的な対象である。梶井基次郎の『檸檬』の経験は、その色、その肌触り、その手に感じられる重みのすべてに係り、それを同じ質量の石によって換えることもできないし、それを同じ値段の他のレモンで換えることもできない。彼が必要としたのは、レモン一般ではなくて、いわんや固体一般でも、商品一般でもなくて、そのレモンである。そしてその日、そのところで、そのレモンによる経験は、たとえ同じレモンによっても、別の日、別のところで、再び経験されることのないものである。すなわちその経験に関して、法則を作ることができないのは、いうまでもない。そのレモンのそのレモンたるゆえんに基づく経験――具体的で特殊な一回かぎりの経験は、科学の対象にはならない。まさに科学が成り立たぬところにおいて、文学が成り立つのである。文学の表現する経験は、科学の扱う対象から、概念上、はっきりと区別することができる。

　（甲）　　　　文学を、科学から区別するのと同じやり方で、日常生活から区別することは困難であろう。日常生活の経験は、文学的な面を含むと同時に、また、科学的な面も含む。日常生活における経験は、文学の出発点ともなり得るし、また科学の出発点ともなり得る。八百屋でレモンを買う主婦は、多かれ少なかれレモンを商品としての、また食品としての一面から見て、そのレモンの他の性質を無視するであろう。またそうするからこそ、主婦の経験は①ちくせきされ、法則化され、上等のレモンを安く買う買物上手にもなり得るのである。梶井基次郎流のレモンの経験は、主婦を買物上手にはしない。もっと一般化していえば、およそ社会生活をいとなむ上に必要な知識を、主婦にあたえない。しかしそういう実用的な知識を必要としない子どもは、母親が台所においたレモンをみて、その②こうたくに惹かれ、手にとってみてその冷たい肌触りに、ながく忘れることのない感覚的なよろこびを感じるかもしれない。その感覚はそのときかぎりのものである。古来詩人の心を以て童心にたとえたのには、理由がある。しかしその理由は、子どもの心が③じゅんしんむくだからではない。そうではなくて、子どもは社会に対して無責任だからである。責任がないから、その経験を積み重ねて、法則を見出す必要もない。（乙）　　　　経験を分類するために抽象化する必要もないだろう。すなわち具体的経験をその具体性において捉えることができる。もし主婦の買うレモンが経済学者の対象に近いとすれば、子どものレモンは、梶井基次郎のレモンに似ているのである。

　総じて経験の抽象化の程度という点からみれば、日常生活の経験は、一方で文学的経験と連続し、他方で科学的経験に連続している。別の言葉で言えば、経験の抽象化の軸によって、一方の極端である文学的経験を、他方の極端である科学的経験から区別することは容易だが、その中間の（2）　　　　　的経験から区別することは困難だということになる。

　　　　　　　　　　　　　　　加藤周一「文学の概念」より

問1　次のそれぞれの補足の文は、本文中のどこに入れればよいか。入れるべき部分の後の五文字をそれぞれ記しなさい。（句読点は除く）（3×2＝6）

　　1（その他の性質、たとえば色や味や産地や値段を捨象されることによって）

　　2（その他の性質、たとえば位置や運動量などを捨象されることによって）

　　　1

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |

　　　2

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |

問2　①～③の下線の部分を漢字に書き換えなさい。（1×3＝3点）

　　　①（ ） 　　②（ ） 　　③（ 　　　 ）

　 ちくせき　　　　こうたく　　　 じゅんしんむく

問3　空欄（1）、（2）に入れるのに適当な語（漢字二字）を本文中から抜き出して記しなさい。（3×2＝6点）

（1）：

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

　　　（2）：

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

問4　（甲）、（乙）の空欄に入れるのに適当な語をそれぞれ次のＡ～Ｄのうち一つ選びなさい。（1×2＝2）

　　　（甲）Ａ　また　　　Ｂ　すなわち

　Ｃ　しかし　　Ｄ　さて

　　　（乙）Ａ　その上　　Ｂ　従って

　　　　Ｃ　つまり　　Ｄ　けれど

問5　次のＡ～Ｄのうちから、本文の趣旨として最も適当と思われるものを一つ選びなさい。（1×3＝3点）

A　力学も経済学もレモンを商品として取り扱わない点に共通性がある。

B　子どもはレモンの肌触りに感覚的な喜びを感じる点で詩人である。

C　文学は一回限りの経験を対象とするが、科学はそうではない。

D　梶井基次郎のレモンの特徴は、色、肌触り、重みにある。

**Ⅲ　作文（30点）**

テーマ：環境保護について考えること

字数：800字ぐらい

文体：「である」体